

足元の災害
リスクを知る

認定特定非営利活動法人 防災・減災サポートセンター

ぼうさい・げんさい News Letter

被災者ゼロを目指して

2022.7.1発行（年4回） vol.1

防災・減災サポートセンターの目的

この法人は、不特定多数の市民・団体に対して、科学技術分野で助言・提案を行い、社会教育、地域づくり、地域安全、災害救援の支援、科学技術の振興の寄与に関する事業を行い、もって公益の増進と自然災害の防災・減災に寄与することを目的としています。

活動報告

2022 6/18-7/2 ベトナム社会主義共和
国ラオカイ省草の根防災支援

ラオカイ州の3つの村をモデル地区として、地すべりや土石流などの自然災害の防災・減災を目指して地域防災組織の活性化を目標として支援するプロジェクトです。JICAの事業に採択され、現在作業中です。Covid-19による渡航制限などの影響を受け、厳しいスケジュールになっています。

地元ではプロジェクトが歓迎され、期待されていることがわかりました。ラオカイの美しい棚田は地すべり地を利用してつくられています。

2022 6/11（土）住吉小予備踏査、第3回運営会議

2022 5/14（土）

2022年度定時総会 参加者19名
（内委任状14名）

2021年度活動の承認を受け、2022年度の活動計画も承認されました。

2022 5/14（土）

第2回NPO運営会議 5名参加
総会準備、住吉小防災学習支援ほか

2022 4/9（土）

第1回NPO運営会議 6名参加
「自然災害についての防災Q&A100」書籍出版についてほか

今後の予定

- ・出版；自然災害 防災Q&A 100 8月
出版記念の会を計画中です
- ・石巻市立住吉小学校防災教育支援；（7/5,8）
- ・第4回運営会議；2022 7/5（火）
- ・サイエンスデイ2022；7/17（日）9-16時
タイトル；地震を見る、聴く？～ゆるる波の正体とは～

会場；東北大学川内北キャンパス

いろいろな実験とお話で、地震を体感します。

参加者募集；サイエンスデイ2022のURLからお申し込みください。

<http://www.science-day.com/>



ラオカイ省
SaPa東部の棚
田風景（2022年
6月23日撮影）

防災に関するニュース

世界

ブラジルで2022年2月15日にはリオデジャネイロ北方70kmのペトロポリスで地すべりにより死者94人、雨量は259mm（240mm/2h）でした。80戸の住宅が流されました。（朝日新聞Digital）また、5月29日にはブラジル北東部のペルナンブコ州で洪水と土砂崩れにより、56名の死者と56名の不明者がでて、3900人以上が家を失って避難しているという報道がありました。（テレ朝news）

防災に関するニュース

日本

2022年3月16日福島県沖深さ57kmを震源とするM7.4の地震が発生し、宮城県や福島県で最大震度6強のゆれを記録しました。この影響で、東北新幹線は高架橋の橋脚に損傷を受け、約1か月弱運休しました。このほかにも建物被害などが発生しました。

地震だけでなく、大雨の被害が2019年9月の台風19号で丸森町を中心として浸水被害が発生しました。

関連URL丸森町；

https://www.town.marumori.miyagi.jp/common/img/content/content_20211203_160618.pdf

地震に伴う津波の最新の浸水範囲予測が5月10日付で発表された。「最大クラスの津波が悪条件下で発生した場合」の想定ということで、悪条件は、①地震とともに地盤が沈下、②津波発生時の潮位は満潮、③津波が越流すると即時に防潮堤が破壊、ということです。関係市町村の防災計画に大きな影響があると思われます。

関連URL；宮城県

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/miyagi-tsunami-shinsuisoutei-published1.html>

知るシリーズ

地形・地質が下手人

地すべりの場合

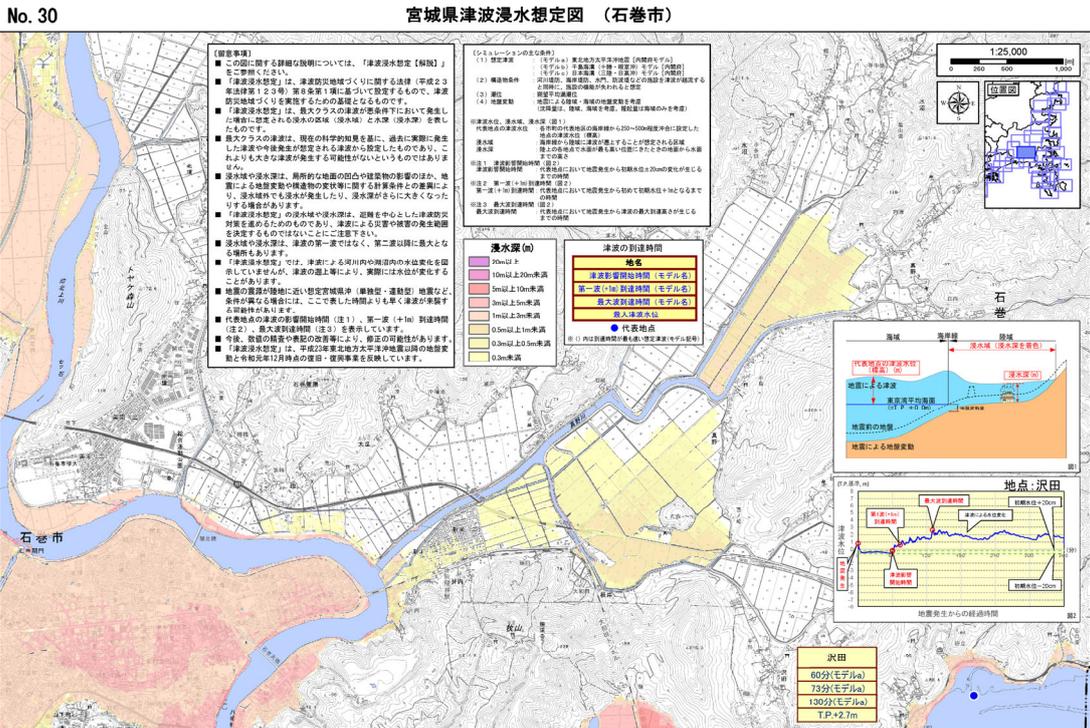
地質に関連する地すべり；堆積岩での層すべり（流れ盤すべり）

地層の堆積面に沿って、あるいは堆積面がすべり面になって土や岩盤が動くものです。比較的大きな地すべりに多く、町をひとつ乗せたまま動くこともあります。

河川の流れて地すべり末端が浸食されて、土塊のバランスが崩れて発生します。



地すべりの概念図（国土交通省HPより）



石巻市の最新津波想定の一部（宮城県HPより）

実践シリーズ

マイマップを片手に！

被災を想像する

例えば大雨で浸水のケース

内水氾濫があるのか、堤防の決壊か、上流から洪水が来るのか？今いる場所はどのようなリスクがあるのか。マイマップを片手に歩いてみましょう。ハザードマップで浸水予測を見て、避難場所の妥当性を再検討。指定避難所は浸水用ですか？夜間は歩けますか？側溝は蓋がありますか？

いろいろな情報が必要です。

再確認しながらマイマップを育てましょう！



●内水氾濫とは、下水道などの排水能力を超える大雨が降り、雨を河川等に排水できない場合に発生すること。

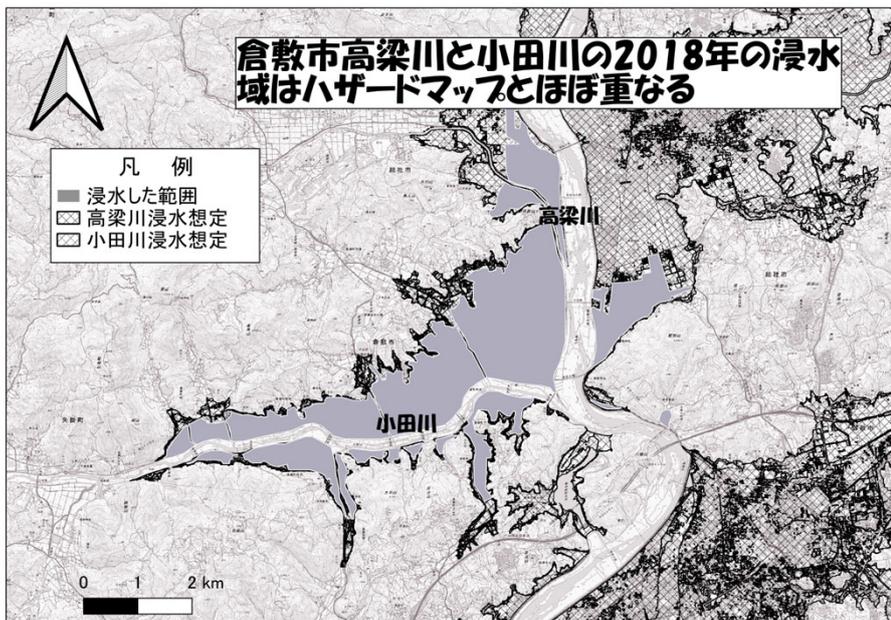
福岡市HPより

得シリーズ あるものを上手に活用！

ハザードマップを理解する

ハザードマップを見たことがある人は多いですが、自分の家や通勤通学路にあるハザードを正しく理解しているでしょうか？

凡例とハザードマップが作られた背景を読みこなしましょう。洪水ハザードマップは、前提となる雨量（例えば2日間で150mmなど）が書いてあります。また、土砂災害なら都道府県のホームページで基礎調査の資料や過去に発生した災害もマップの上で確認することができます。このような情報を自分で確認してハザードを正しく理解することが大事です。



倉敷市の高梁川と小田川で2018年7月に発生した豪雨による浸水域は、広範囲にわたり大きな被害が出ました。ハザードマップで想定されていた範囲にほぼ重なります。普段からハザードマップを見て、浸水の可能性のある場所に住んだり、職場や学校がある人は、早めの避難や、安全な避難場所・避難経路を考えておくことが重要だと思います。地域のハザードマップをつくりながら避難のことを考えれば効果的ではないかと思います。左の図は、倉敷市の資料を基に作成したものです。



エジンバラ城 6世紀にケルト人が砦をつくったのが始まり。エジンバラ(Edinburgh)は現在の英国王室とは深い関係があります。エジンバラは近代地質学の父と呼ばれるジェームス・ハットン(James Hutton 1726-1797)が「ハットンの不整合」として有名な古生代シルル紀とデボン紀の境界の露頭を発見しています。エジンバラ城の岩盤は石炭紀の火山岩のようでしたが、市街地の建物多くは砂岩の石材を使用しています。

防災いろはのコーナー

ここでは、災害への関心を持ち続けるための読みものを紹介します。小冊子としてすでに印刷配布されていますが、ここではその続編を紹介いたします。

防災いろはII-1

天災は忘れぬうちにやって来るとい言葉がありますが、最近は忘れぬうちに自然災害との出会いが多くなってきています。2011年の東日本大震災から10年以上が過ぎて、余震も減衰していくのかと思ったら、2022.3.16には震度が6強というような夜中の大きな揺れで飛び起きました。自然災害は地震だけではなく、台風や豪雨、強風といったことでの被害に気をつけなければならないのは、この日本列島に暮らしているかぎり宿命です。

災害への対応は、先ずは自分自身が関心を持つようにすることだと思います。そうすることで、災害発生時の不安、焦燥感などが和らいで後悔しない判断が、特にこの情報時代だからこそ必要なことです。目次を紹介いたします。今回は「い」～「を」です。

- 【い】 命あつての物種、何よりも自助を大切に
- 【ろ】 ローリングストックとソーシャルデスタンスはいまや、くらしの安全保障
- 【は】 ハート（こころ）の整備で自立した防災を学ぶ
- 【に】 二次災害は知恵と工夫と機転がかなめ
- 【ほ】 北上しているものはな～に
- 【へ】 偏西風という風神様のふるまい
- 【と】 飛んで火に入る夏の虫
- 【ち】 沖積平野は瑞穂の里だが地の下に災害の素がある
- 【り】 リスクはいつも同じでない、増えていないか気をつけよう
- 【ぬ】 抜け（弱点）を見つけて入り込む禍神
- 【る】 流説とはいえ無視できない言い伝え
- 【を】 終わりのない災害への備え、新型災害、複合災害の登場

内容の詳細は下記のURLに順次掲載いたします。

発行；認定NPO法人 防災・減災サポートセンター
住所；宮城県富谷市ひより台2-11-3
電話；022-358-9151
URL；<https://bousai-support.or.jp/>

会員募集

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターでは、一緒に活動していただける会員を募集しております。また、いろいろな制約で一緒に活動できない方の賛助会員としての参加も大歓迎です。現在の会員数は、正会員19名、賛助会員21名、賛助法人2社です。正会員と賛助会員の会費は同額です。

私たちは、「自然災害による被災ゼロを目指して」活動を続けています。宮城県内はもちろん、東北や北関東まで防災出前講座をしております。地域防災マップ（マイマップ）をつくりながら、地域の課題を地域の方が解決していくお手伝いをさせていただいております。このような活動をご理解いただき、賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

年会費 3,000円（入会金なし）

お申込み方法

①入会申込書に必要事項を記入して、事務局にメールまたは郵送などでお送りください。

（入会申込書は、下記のURLの「入会ご案内とご寄付のお願い」の「入会ご案内」の様式、内容でお願い致します）

送付先：特定非営利活動法人防災・減災サポートセンター

〒981-3304 宮城県富谷市ひより台2-11-3

電話：022-358-9151

メール：info@bousai-support.or.jp

②年会費（正会員、賛助会員同額）を下記指定口座へお振込ください。

振込先

銀行名；ゆうちょ銀行

口座番号；記号番号 18190-00548571

口座名；トクヒ）ボウサイ・ゲン サイサポートセンター

③書類①、年会費の振込②を確認の上、入会受付完了のお知らせをご連絡いたします。